

未来を明るく！ おかしなことを うやむやにしない

私の決意

我が国の税収は過去最高、企業の内部留保は12年連続増で過去最大600兆円となりました。リーマンショック後の株式市場下支えで始まった日銀の債権購入の時価74兆円(*静岡県年間予算1、3兆円)。税や社会保険の負担増は必要ありません。予算配分を変え、政策誘導や戦略的売却で「資産を財源」として右記の政策を実現します。

東部と伊豆は首都圏 安心で活力のある郷土づくり

- ①移住定住で人口増(令和5年度沼津378人伊東127人など)。リモートオフィスや起業拠点に保養所など既存施設リニューアル、ホテル旅館の空室利用で稼働と雇用を創出。
- ②伊豆縦貫道沼津下田間の早期完成、伊豆湘南道路推進、沼川放水路完成。
- ③ヘリポートの夜間照明設置など、災害時に用いる空と海からの自衛隊活動拠点を整備。
- ④東部にスポーツ拠点を創り、プロ・アマの公式戦、冬場は県外からキャンプや合宿を誘致。
- ⑤特色ある高校づくりで、県外からの「留学生」受け入れ(島根県モデル)。

日本の明るい未来のため

- ①教育費と給食費の無償化。若者の奨学金負担をなくし少子化を止めます。
- ②最低保障の年金制度で先の人生に安心を。
- ③健康長寿を日本の成長産業に。医療機器や介護器具、環境衛生と生活向上を世界に輸出。
- ④中長期視点で可能性を見出し町工場を守ります。中小企業の社会保険負担の引き下げ。
- ⑤農林水産、実業学校を支援。一次産業従事者の所得保障、地産地消と戦略的輸出。

渡辺 周(わたなべしゅう)の経歴

沼津二小、沼津一中、沼津東高、早稲田大学政経学部卒業後に読売新聞記者。平成3年県議会議員、沼津JC理事、平成8年から衆議院議員。防衛副大臣、総務副大臣、拓殖大学客員教授、早稲田大学商議員など歴任。党 政治改革推進本部長、党 外務・拉致問題担当大臣。超党派「領土を守る議員連盟」事務局長、超党派「拉致対策議員連盟」会長代行、静岡県ボーイスカウト副連盟長

わたなべ周
オフィシャルサイト
<https://watanabeshu.org>



わたなべ周
facebook



昭和36年12月11日生まれ(62才)

わたなべ周

立憲民主党